

2025 年度 第 1 回 NST 実地研修カリキュラム

研修生指導責任者 泉野 浩生 NST 長

研修受入責任者 泉野 浩生 NST 長

受入職種 看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士  
と条件 作業療法士、歯科衛生士、診療放射線技師  
※臨床経験 3 年以上  
※今年度は長崎県内在住、NST 専門療法士受験者優先の方とさせていただきます。

参加費用 研修費用 26,400 円 (4,400 円/日×6 日)

受入人数 15 名程度 (最小催行人数 8 名)

研修日時 集中講義：2025 年 10 月 20 日 (月) ~ 22 日 (水)

実習 : 2025 年 10 月 29 日 (水)、30 日 (木)

症例発表：2025 年 11 月 10 日 (月)

研修時間 9 : 00 ~ 17 : 00 (うち休憩 1 時間)

(症例発表 14 : 00~16 : 00 ※集合は 9 : 00 とし発表時間まで情報収集を行う)

研修場所 講義・実習

10 月 20 日 (月) 多目的指導室

10 月 21 日 (火) 電子カルテ操作研修室

10 月 22 日 (水) 多目的研修室 (手前)

10 月 29 日 (水) 多目的研修室 (手前)

10 月 30 日 (木) 多目的研修室 (手前)

11 月 10 日 (月) 電子カルテ操作研修室

研修時間の時間配分

講義 14.5 時間

病棟回診 2.5 時間

カンファ 11.0 時間

栄養評価等実技 9.5 時間

その他 (オリエンテーション・症例発表) 2.5 時間

合計 40.0 時間

## ■カリキュラムの詳細

	内 容 (予定)	指導担当	時間
オリエンテーション	チーム長挨拶 自己紹介 (院外・院内研修生) 長崎大学病院NSTについて 研修の流れ組織	深山栄養士	30分
内科医師	「糖尿病患者の栄養・血糖管理」 ・糖尿病患者の栄養管理 ・当院における周術期血糖管理 (チーム医療) ・【栄養評価等実技】インスリン関連 (30分)	森内医師 (糖尿病診療支援センター)	90分 (講義 60分/ 実技 30分)
	栄養と腎臓	山下医師 (血液浄化療法部)	60分 (講義)
外科医師	胃瘻・ERAS	濱崎医師 (胃・食道外科)	60分 (講義)
	小児の栄養について	山根医師 (小児外科)	60分 (講義)
リハビリテーション科医師	リハビリテーションと栄養管理	高島医師	60分 (講義)
高度救命救急センター医師	高度救命救急センターにおける栄養管理について	泉野医師	60分
歯科医師	摂食嚥下機能評価の実際・症例検討 ・摂食嚥下リハビリテーションについて ・摂食嚥下の解剖・メカニズム ・評価摂食：スクリーニング・VE・VFについて ・嚥下障害への対応方法	久松歯科医師	90分 (実技)
管理栄養士	・NST管理栄養士の担当する業務について	深山栄養士	60分
	・栄養評価と適正な栄養量の決定	深山栄養士	60分 (実技 60分)
	・経管栄養剤の種類と特徴【栄養評価等実技】 栄養剤試飲など	深山栄養士	60分
	・InBody測定	高島室長	30分 (実技)

高度救命救急センター 一医師	解剖生理・消化吸収・代謝・生化学まとめ	村橋医師	60分 (講義)
看護師	NST看護師の担当する業務について ・NSTにおける看護師の役割 ・栄養スクリーニングについて ・口腔ケアについて ・経腸・経静脈栄養ルートの管理	荒木看護師 服部看護師	60分 (講義)
	褥瘡ケア関連 【症例検討を中心に】	田島看護師長 (褥瘡管理)	60分
	経腸栄養管理・ポンプチューブ管理 【栄養評価等実技】	前田看護師 竹内看護師 野平看護師	60分 (実技)
	緩和ケア関連	松尾看護師長 (緩和ケアセンター)	60分 (講義)
	在宅医療・介護・在宅栄養について	木村看護師長	60分 (講義)
薬剤師	NST薬剤師の担当する業務について ・NSTにおける薬剤師の役割 ・TPN無菌調製(経静脈輸液適正調剤法の取得) ・経静脈栄養剤の配合変化と側管投与 ・簡易懸濁法の実施と有用性の理解	里薬剤師	60分
	電解質輸液・静脈栄養法について ・静脈栄養のプランニングとモニタリング (問題点・リスクの抽出、 合併症の予防・発症時の対応) ・【栄養評価等実技】(30分)	松永薬剤師	60分

※内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## ■実習の詳細

### <症例実習>

- ・NSTへ紹介された症例のアセスメント、栄養管理等の流れを実習する。

### <アセスメント実習>

- ・栄養評価の方法を学習し、身体計測を含むアセスメントの実際を実習する。

### <カンファランス>

- ・NSTカンファランスに参加する。

### <回診>

- ・NST回診に同行する。

### <見学>

- ・高度救命救急センター見学
- ・薬剤部（薬剤調製）の見学
- ・簡易懸濁法の実技

### <症例報告>

- ・担当したNST症例の経過をまとめ、症例報告する。

## 参考図書

日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック （南江堂）